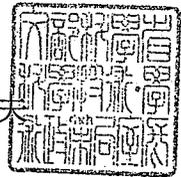


21科原安第34号  
平成21年6月25日

許 可 使 用 者  
届 出 販 売 業 者 殿

文部科学省科学技術・学術政策局  
原子力安全課放射線規制室長 中矢 隆夫



(印影印刷)

行政指導に基づく放射線源登録制度の運用開始について（通知）

常日頃より放射線障害防止法関係法令に基づき安全規制に御協力をいただきありがとうございます。

さて、平成21年度に予定している放射線障害防止法施行規則改正に伴って、平成23年1月から、一定の数量以上の密封された放射性同位元素について、その線源及び受払い等の情報を文部科学省へ報告する制度（放射線源登録制度）を正式に開始する予定です。本制度では、線源番号等これまで記帳や報告を求めていなかった項目についても報告を求め、さらに、原則インターネットを利用しての報告をお願いすることとなります。

つきましては、本制度を円滑に実施していただくため、改正施行規則の施行に先立ち、本制度の試験運用を行政指導として開始しますので、線源及び受払い等の情報を別紙のとおり報告いただきますよう、御協力をお願いします。

(本件問い合わせ先)

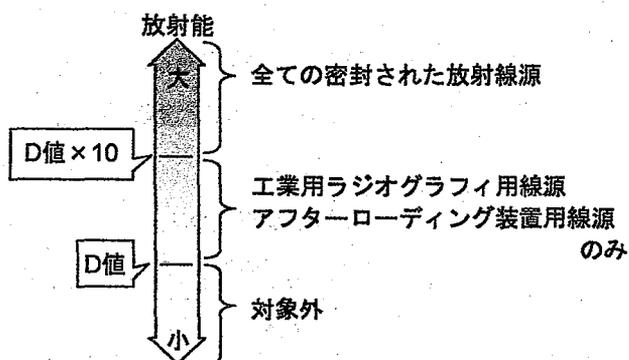
文部科学省科学技術・政策局  
原子力安全課 放射線規制室  
放射線源登録制度担当 安藤、石井  
電話 (03) 6734-3836  
e-mail genhosya@mext.go.jp

## 別紙1 放射線源登録度の運用 対象物および報告項目

## 1. 対象となる線源

- 1) D値※の10倍以上：全ての密封された放射線源
- 2) D値※以上：密封された放射線源のうち

- ・工業用ラジオグラフィ用線源  
(非破壊検査装置用線源)
- ・アフターローディング装置用線源  
(腔内治療用線源)



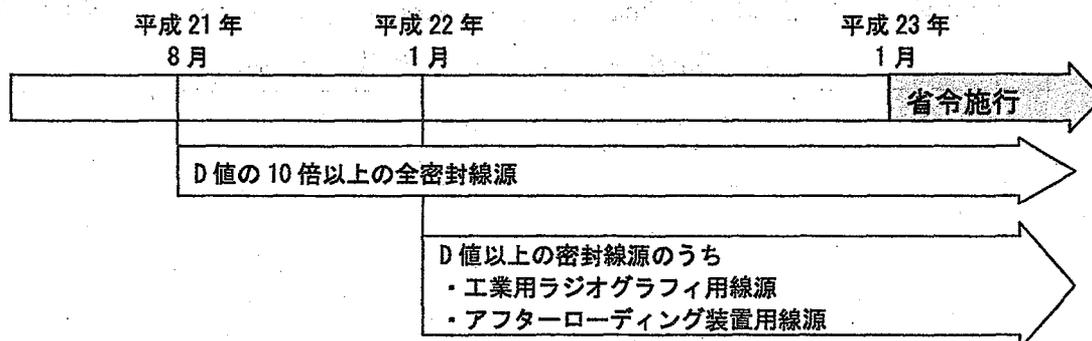
※D値：核種毎に定められた放射能値（以下は抜粋）

（単位：TBq）

核種	D値 × 10	D値	核種	D値 × 10	D値
Co-60	0.3	0.03	Yb-169	3	0.3
Se-75	2	0.2	Ir-192	0.8	0.08
Ge-68	0.7	0.07	Po-210	0.6	0.06
Sb-124	0.4	0.04	Am-241	0.6	0.06
Cs-137	1	0.1	Cf-252	0.2	0.02

## 2. 報告開始時期

- 1) 平成21年8月1日より：D値の10倍以上の全ての密封された放射線源
- 2) 平成22年1月1日より：D値以上の密封された放射線源のうち、
  - ・工業用ラジオグラフィ用線源
  - ・アフターローディング装置用線源



## 3. 報告項目

## 1) 報告者の情報

氏名又は名称、代表者氏名、所在地

許可・届出番号、工場又は事業所、販売所の名称および所在地

事務上の連絡先（連絡員の氏名、連絡先）

## 2) 受入れ・払出し等の情報

受払いまたは譲渡譲受の相手方の許可番号および名称、受払日又は譲渡譲受日

## 3) 放射線源の情報

**※番号、用途、型式などの具体的な記載内容は、線源の販売業者にご確認下さい。**

報告項目	内容
番号	「線源番号」、「Serial No」、「source Number」、「Capsule #」など、線源に刻印された固有の番号で、仕様書、成績書、Certificateなどに記載された番号
用途	[大線量照射]、[測定器校正]、[工業用ラジオグラフィ]、[血液照射]、[ガンマナイフ]、[アフターローディング]など、線源の一般的な使用用途
型式	[C-188](大線量照射)、[CSL-15](血液照射)、[43685](ガンマナイフ)、[IR621](工業用ラジオグラフィ)、[GK60M21]、[VS2000]、[ICCB2689]、[080361V2](アフターローディング) など、線源の型式(コード番号)
核種	[Co-60]、[Ir-192] など、許可上の核種
数量	[370GBq]、[111TBq] など、許可上の数量
ホルダー番号	[1X001]、[8201]など、工業用ラジオグラフィ用線源の成績書に記載されたホルダー番号（他の用途に使用する場合は記入不要）
製造者名	[社団法人日本アイソトープ協会]、[MDS Nordion]、[REVISS SERVICES Limited]、[Mallinckrodt Medical B.V.]、[GE Healthcare Buchler GmbH & Co. KG]など、線源の最終加工者

## 4. 報告の種類と報告期限

報告の種類	報告対象者	報告期限
運用開始時の在庫報告	許可使用者	運用開始日から3月間
受払い等の報告 ☆使用の場所の一時的変更 (法第10条第6項) にかかる報告は必要ありません。	許可使用者 届出販売業者	受払い等を行った日から 15日後まで
定期在庫報告 (毎年3月31日時点の在庫報告)	許可使用者	在庫を確認した日から3月間 (毎年6月30日まで)

## 1) 運用開始時の在庫状況

運用開始時に、どの線源がどこにあるか(初期値)をシステムへ登録するための報告

## 2) 輸入、輸出、受入れ等、払出し等

- (1) 輸入 : 海外から国内に線源を譲り受ける行為
- (2) 輸出 : 国内から海外へ線源を譲り渡す行為
- (3) 受入れ等 : 「線源を管理下へ入れる」行為(輸入を除く)  
(受入れ、譲受け、回収、賃借、保管の委託の終了)
- (4) 払出し等 : 「線源を管理下から出す」行為(輸出を除く)  
(払出し、譲渡し(販売)、返還、賃貸、保管の委託)

## 3) 製造

- (1) 非密封線源からの製造 : 非密封線源を原料に、報告対象の密封線源に加工する行為
- (2) 密封線源からの製造 : 報告対象外の線源を原料に、対象線源へ加工する行為

## 4) 変更

- (1) まとめ : 報告対象の線源を複数まとめ、異なる線源へ加工する行為
- (2) 分解 : 「まとめ」によって加工された線源を元の複数の線源へ戻す行為
- (3) 数量の変更 : 変更申請によって許可上の数量(公称放射能)を変更する行為

5) 報告対象ではなくなる行為

- (1) 用途の変更 : D 値以上かつ D 値の 10 倍未満の放射能をもつ工業用ラジオグラフィ用線源またはアフターローディング用線源を、その用途には使用できないように加工する行為
- (2) 数量の変更 : 変更申請によって、許可上の数量（公称放射能）を、報告対象を下回るような数量へ変更する行為

6) 定期在庫報告

毎年 3 月 31 日に所持（保管）している線源の情報

## 別紙 2-1 放射線源登録システム 操作手順

## ○インターネットによる登録

線源登録制度に係る報告は、原則インターネットを利用して、当室が用意した報告用サイトにログインして行っていただくことになります。インターネットを利用できない事業所につきましては、放射線規制室担当者までご連絡下さい。

報告用サイトのアドレスやログインするための ID・パスワードは、別途郵送する「利用通知書」に記載されています。利用通知書の送付時期は次に示すように、取り扱う線源の種類によって異なります。

2009年 7月中旬：D 値の 10 倍以上の密封線源を取り扱う事業所

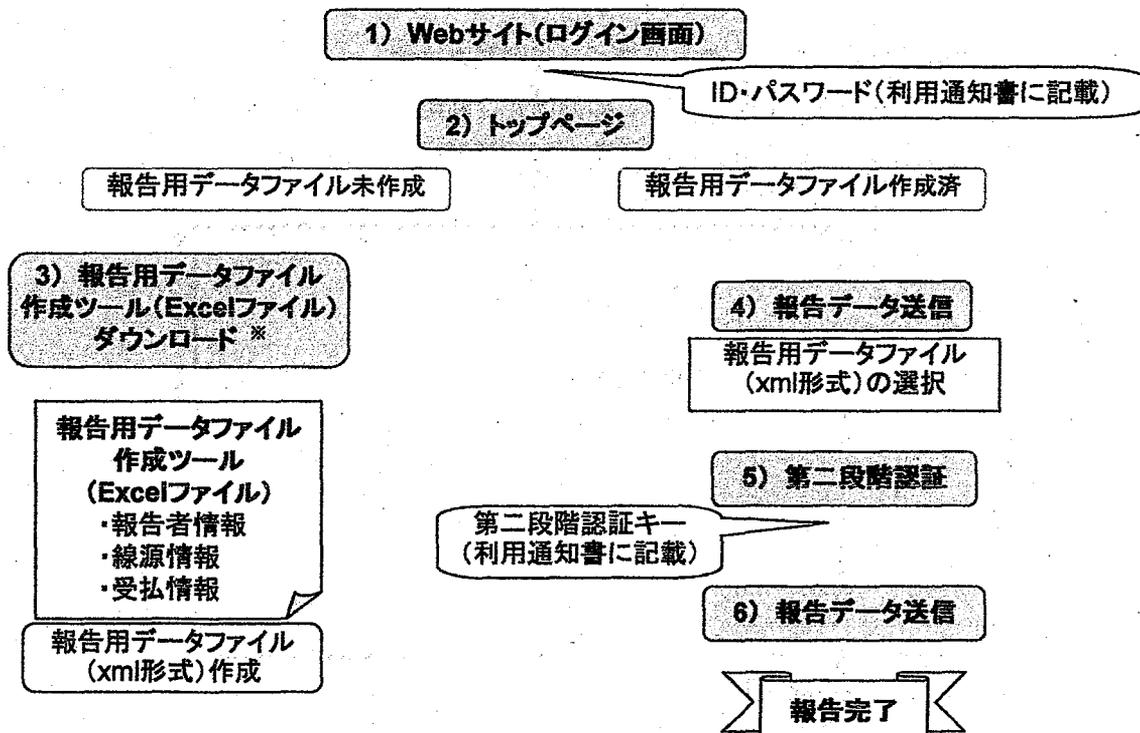
2009年 12月中旬：D 値以上 D 値の 10 倍未満の密封線源を取り扱う事業所

利用通知書を紛失してしまった場合は、放射線規制室担当者までご連絡下さい。

## ○報告用データの作成

インターネットを利用して報告するためには、報告用サイトにログインし、専用のツールをダウンロードして報告用データファイル (xml 形式) を作成する必要があります。

本書では、報告用サイトにログインし、報告を行うまでの操作方法と、報告用データを作成する方法を説明いたします。



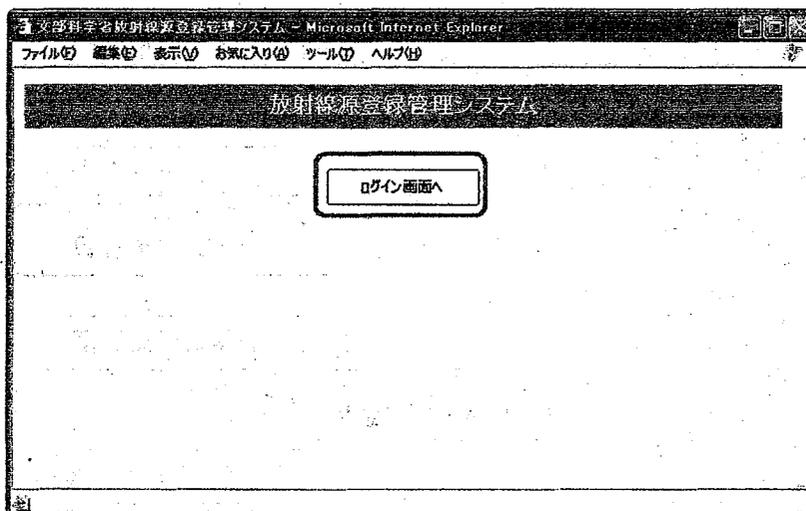
※ 3) の手順は初めて報告を行う際に必要となります。2回目以降の報告には、すでにダウンロード済みのツールを再使用することができます。

## 1. web 操作方法

web ブラウザを立ち上げ、利用通知書に記載されたシステム URL にアクセスして下さい。

利用通知書																																																								
〒111-0111 東京都千代田区霞が関1-1-1 放射線株式会社 放射線取扱主任者 殿																																																								
2009年07月01日																																																								
放射線株式会社 代表取締役 放射 太郎 殿																																																								
文部科学省 科学技術・学術政策局 原子力安全課 放射線規制室長 放射線源登録管理システム利用通知書																																																								
本通知書は、「放射線源登録管理システム」を使用するための情報を連絡するものです。 本書はシステムを利用するために毎回必要となるため、大切に保管してください。																																																								
事業所情報 許可届出番号	係第 9999号																																																							
事業所名称	放射線株式会社																																																							
放射線源登録管理システム利用情報																																																								
システムURL	https://*****/																																																							
認証ID	*****																																																							
パスワード	***** (2010年00月00日 まで有効) 注4																																																							
第二段階認証キー表	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>*</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>*</td> </tr> </tbody> </table>		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	A	2	0	0	9	1	2	3	4	5	6	B	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	C	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	D	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																																														
A	2	0	0	9	1	2	3	4	5	6																																														
B	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*																																														
C	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*																																														
D	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*																																														
放射線源システム利用上の注意 注1. 本通知書を																																																								

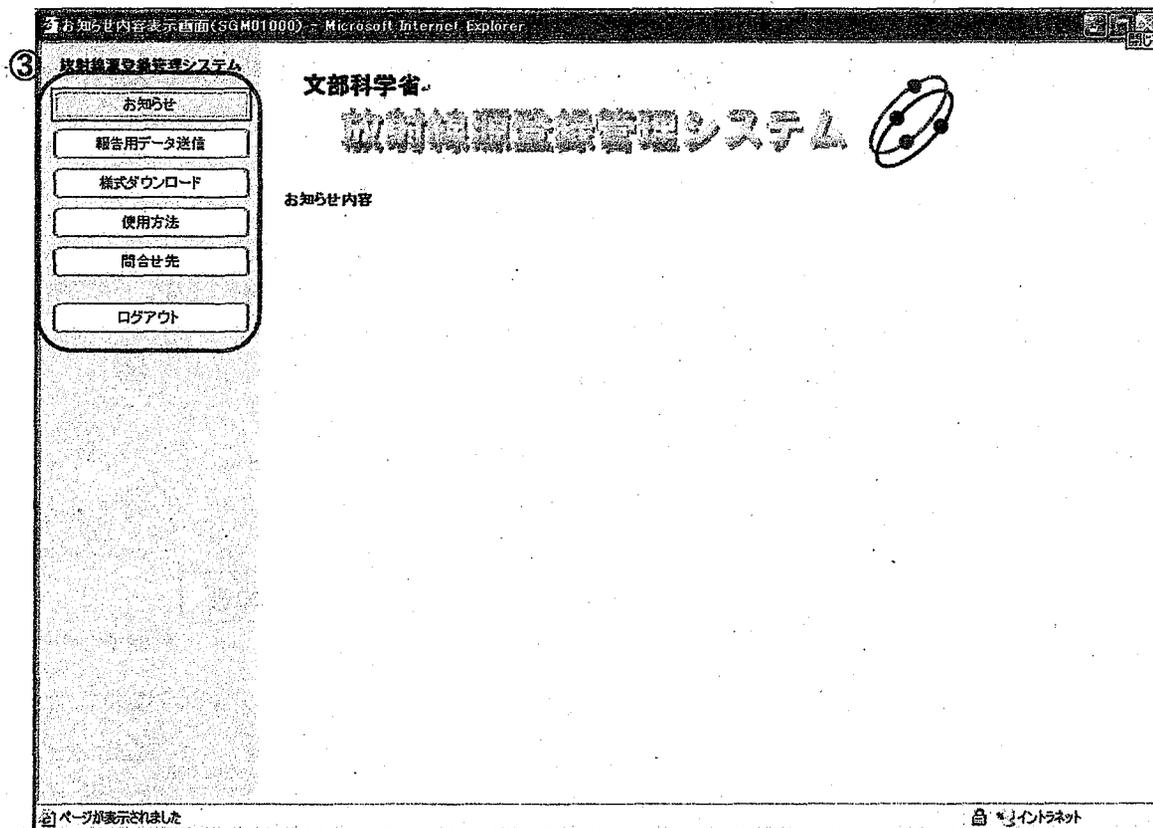
放射線源登録システムのトップページが開きます。  
ブックマークをする場合は、この画面をご利用下さい。



↓【ログイン画面へ】



## 2) トップ画面 (お知らせ内容表示画面)



ログイン後のメインページです。線源登録制度に関するお知らせが書かれています。データ作成ツールなどの更新情報も掲載しますので、必ず確認して下さい。

## ③ メニュー画面

【お知らせ】 トップページ (この画面) を表示します。

【報告用データ送信】 専用のツールを使用して作成した報告用データファイルを文科省へ送信するための画面へ移動します。(「4) 報告用電子データ送信画面」をご覧ください。)

【様式ダウンロード】 報告用データファイル作成ツール (Excel) をダウンロードする画面へ移動します。(「3) 様式ダウンロード画面」をご覧ください。)

【使用方法】 使用方法を確認する画面へ移動します。

【問合せ先】 問い合わせ先に関する画面へ移動します。

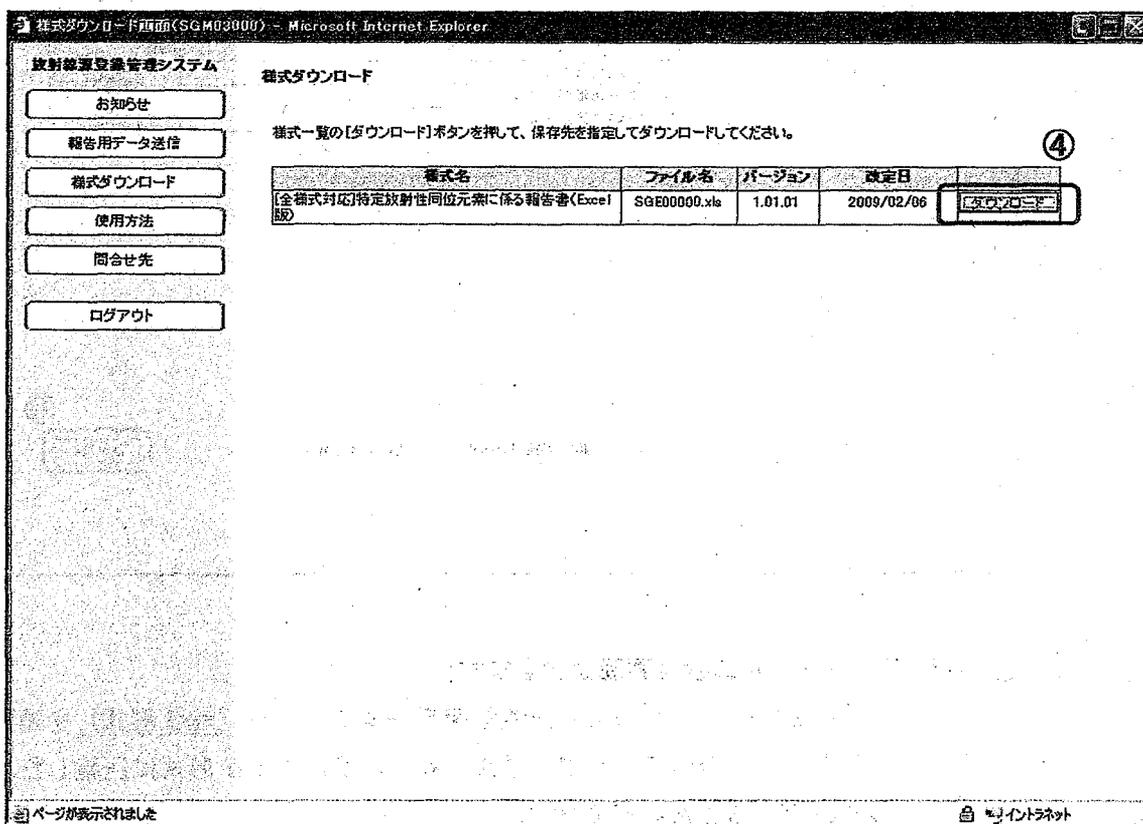
【ログアウト】 「1) ログイン画面」へ戻ります。

## 3) 様式ダウンロード画面

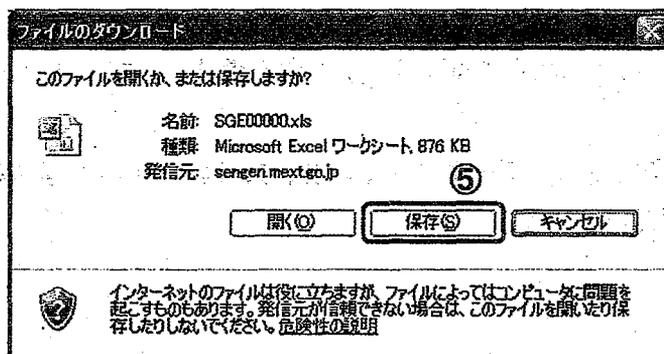
(報告用データファイル作成ツールのダウンロード)

報告のためには報告用データファイル (xml 形式) を作成する必要があります。報告用データファイルは、専用のツール (Excel) を利用して作成します。専用のツールは、この画面からダウンロードします。

※Excel を使用できない環境の方は、放射線規制室 線源登録担当までご連絡下さい。



④ 【ダウンロード】 報告用データファイル作成ツール (Excel) をダウンロードします。



⑤ 【保存】 各自のパソコンの保存位置を指定し、報告用データファイル作成ツール (Excel) を保存して下さい。

※保存されたツールの操作方法については、本書の 9 ページから記載されています。

## 4) 報告用データファイル送信画面

専用のツールから作成した報告用データファイル (xml 形式) を一覧に登録します。

⑥ 【参照】 ファイルの検索画面が開きます。

専用のツールから作成した報告用データファイル (xml 形式) を選択してください。複数のデータファイル (xml 形式) を zip 形式に圧縮したファイルを選択することも可能です。

※Excel ファイル (xls、xlsx 形式) は送信することができません。

⑦ 【一覧へ登録】 選択したファイルを一覧へ登録します。

※複数のデータファイルを同時に報告する際は、⑥と⑦を繰り返して下さい。

⑧ 【次へ進む】 一覧に登録されたデータファイルを、文部科学省へ送信するための画面へ移動します。

その他のボタンについて：

【チェックデータを削除】 一覧の削除チェック欄にチェックを入れたデータファイルを削除します。

【プレビュー】 登録したデータファイルの報告内容をイメージ画面で見ることができます。内容に間違いがないか再確認する際などに利用して下さい。

## 5) 第二段階認証画面

一覧に登録した報告用データファイルを文科省に報告（送信）する際に、第二段階の認証を行います。

第二段階認証画面(SGM02100) - Microsoft Internet Explorer

放射線測定管理システム

第二段階認証の実施

2. 乱数値の入力と送信

乱数表が印刷された「利用通知書」をお手元にご用意し、下表の「O」で指定される場所に相当する場所の数字を連続して「認証値」欄に入力し、「文部科学省へ送信」ボタンを押してください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
A										
B										
C					O	O	O	O		
D										

認証値

文部科学省へ送信 前画面へ戻る

利用通知書

放射線測定管理システム利用通知書

本通知書は、「放射線測定管理システム」を使用するための情報を提供するためのものです。本書はシステムを利用するために印刷する必要があります。大切に保管してください。

事業所情報  
 事業所番号 関東111111  
 事業所名称 放射線株式会社 東京研究所

放射線測定管理システム利用情報  
 システムURL http://www.sgm02100.com  
 認証ID ID000000  
 パスワード ID000000  
 第二段階認証キー表

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
O	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
O	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
O	1	2	3	4	5	6	7	8	9

放射線測定管理システム利用上の注意  
 注1) 本通知書

⑨ 【認証値】 利用通知書に書かれている第二段階認証キー表を見て、画面上にOが表示されている箇所の数字を連続して入力して下さい。

注：この画面上の Oの位置はサンプルです。Oの位置と数は毎回変わります。

⑩ 【文部科学省へ送信】 次のような確認画面が出ます。

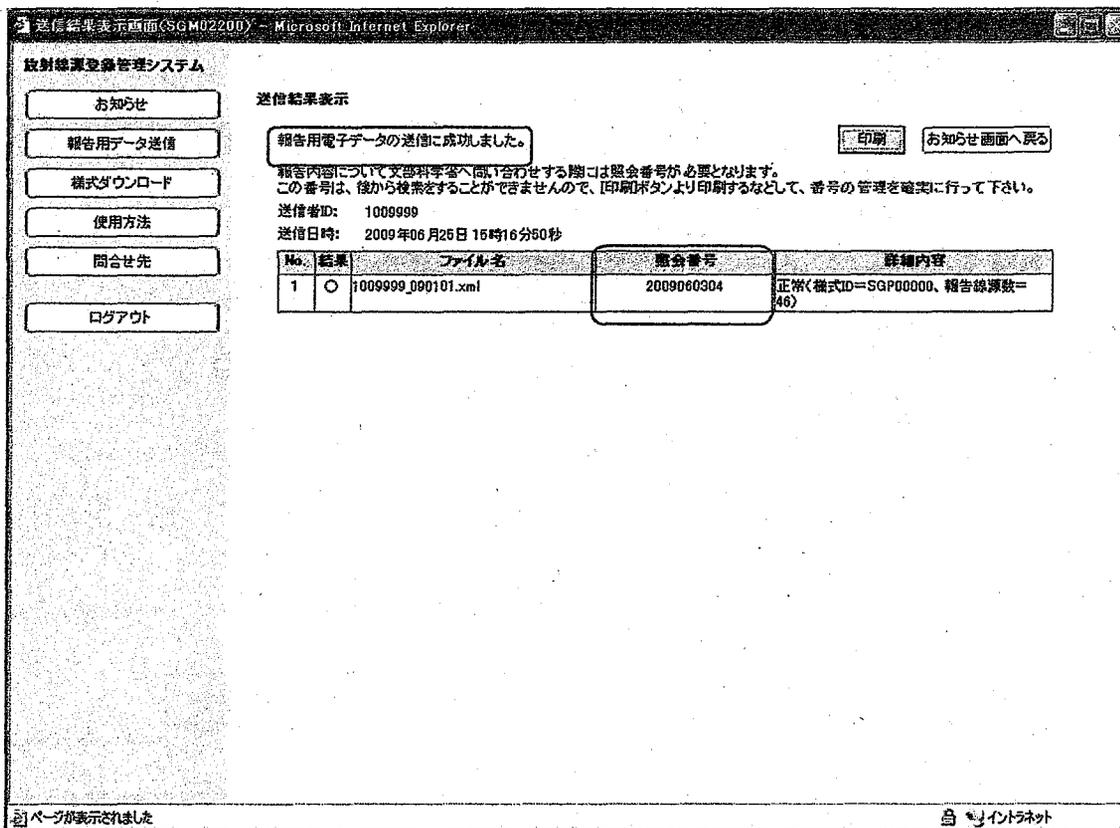
Microsoft Internet Explorer

? I-SGM02100-001-01  
報告用電子データの送信を行いますか？

OK キャンセル

⑪ 【OK】 データファイルが文部科学省へ送信されます。

## 6) 送信結果表示画面



送信が問題なく行われたかどうかを確認できます。

「送信結果表示」の下に、結果が表示されます。

※送信が成功したことを必ず確認して下さい。

“送信に失敗しました”というメッセージが出た場合は、一部又は全てのデータファイルが送信できていません。一覧の「結果」欄を確認し、送信できなかったデータファイルについては、内容を確認した上で再度送信して下さい。

※「照会番号」は、送信の内容について文部科学省に問い合わせる際の問い合わせ番号です。この番号は、一度画面を閉じてしまうと再度表示することが出来ません。印刷する等して、必ず番号を控えて下さい。

※報告を行ったデータファイルについて、web 上から再検索することは出来ません。報告用データファイル (xml 形式) は各事業所で適切に管理して下さい。

## 2. 報告用データファイル作成方法（専用ツール操作方法）

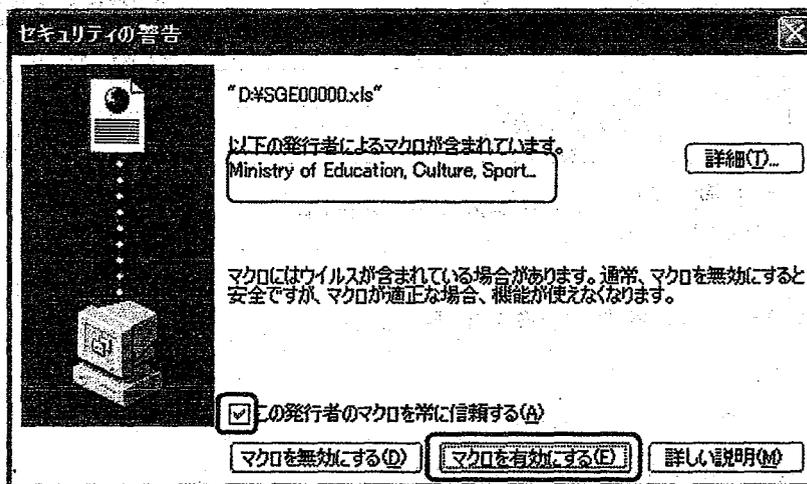
web からダウンロードした報告用データファイル作成ツール（Excel）を開きます。

本ファイルは、文部科学省の電子証明書で署名を行ったプログラムが組み込まれています。

パソコンによってはファイルを開くまでに 10 秒から 60 秒かかることがあります。また、ご利用中の Excel のセキュリティ設定によっては、ファイルを開いた際に警告が出ることがあります。その場合、次の操作を行って下さい。ご利用中の Excel のバージョンによって、ファイルの開き方が異なります。

### (1) Excel 2003 まで

ファイルを開くと下記のようなセキュリティの警告が出ることがあります。



この場合、発行者が「Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology」であることを確認して下さい。

※発行者がこれ以外だった場合は、ファイルを開かずに、放射線規制室までご連絡下さい。

【この発行者のマクロを常に信頼する】にチェックをいれ、【マクロを有効にする】をクリックします。

報告書作成用のシートが開きます。本書の 11 ページからの手順に従って操作して下さい。

## (2) Excel 2007

ファイルを開くとツールバーの下にセキュリティの警告がでることがあります。

The screenshot shows the Microsoft Excel 2007 interface. A security warning dialog box is open, titled "Microsoft Office セキュリティ オプション" (Microsoft Office Security Options). The dialog box contains the following text:

**セキュリティの警告 - マクロと ActiveX**

マクロと ActiveX  
マクロと ActiveX コントロールが無効になりました。このアクティブ コンテンツには、ウイルスが含まれているか、その他セキュリティ上の危険性がある可能性があります。このファイルの発行元が信頼できない場合は、このコンテンツを有効にしないでください。

注意: デジタル署名は有効ですが、その発行元が信頼できる発行元として設定されていません。

詳細情報  
ファイルのパス: G:\SGE00000.xls  
署名  
署名者: Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology  
証明書の有効期限: 2012/02/16  
証明書の発行元: ApplicationCA  
署名の詳細を表示

不明なコンテンツから保護する (推奨)(P)  
 このコンテンツを有効にする (E)  
 この発行者のドキュメントをすべて信頼する

セキュリティセンターを開く [OK] [キャンセル]

The background shows the Excel spreadsheet with the following data:

【事業所情報】		入力助辞	
1) 事業所情報の入力を行ってください。(※は必須項目)			
氏名又は名称		※ 全角30文字以内	例) 放射線株式会社
法人にあつてはその代表者氏名	代表者役職名	※ 全角30文字以内	例) 代表取締役社長
	代表者氏名	※ 全角30文字以内	例) 藤原 太郎(氏名の准)
住所	郵便番号	※	例) 111-0001
	都道府県	※ 選択	リストから選択してください
	住所	※ 全角60文字以内	例) 千代田区麹町1-1
	電話番号	※ 全角50文字以内	例) 線路ビル6F(ビルレマ)
許可証の番号又は届出番号		※	例) 03-1111-2222
工場又は事業所 販売所 賃貸事業所	名称	※ 全角60文字以内	例) 放射線株式会社
	郵便番号	※	例) 111-0001
	都道府県	※ 選択	リストから選択してください
	住所	※ 全角60文字以内	例) 千代田区麹町
	電話番号	※ 全角50文字以内	例) 線路ビル6F
連絡員の氏名	連絡員の氏名	※ 全角30文字以内	例) 連絡 次郎(氏名の准)
	所属部署名	※ 全角15文字以内	例) 原子力安全課
	電話番号	※	例) 03-1111-4444

2) 同一事業所がある場合、下のチェックボックスにチェックを入れて、事業所情報の入力を行ってください。

事業所情報 報告内容集計

【オプション】をクリックして下さい。

The screenshot shows the "Microsoft Office セキュリティ オプション" (Microsoft Office Security Options) dialog box. The "この発行者のドキュメントをすべて信頼する" (Trust all documents from this publisher) option is selected, indicated by a red circle. The dialog box also shows the following information:

署名者: Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology  
証明書の有効期限: 2012/02/16  
証明書の発行元: ApplicationCA  
署名の詳細を表示

不明なコンテンツから保護する (推奨)(P)  
このコンテンツを有効にする (E)  
 この発行者のドキュメントをすべて信頼する

セキュリティセンターを開く [OK] [キャンセル]

署名者が「**Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology**」であることを確認して下さい。

※署名者がこれ以外だった場合は、ファイルを開かずに、放射線規制室までご連絡下さい。

【この発行者のドキュメントを全て信頼する】にチェックをいれ、【OK】をクリックします。

報告書作成用のシートが開きます。本書の 11 ページからの手順に従って操作して下さい。

## 1) 事業所情報入力画面

報告者の事業所情報を入力します。

行	列	内容	入力切替	例
57	【事業所情報】			
58	1) 事業所情報の入力を行ってください。(※は必須項目)			
60	氏名又は名称	①	* 全角90文字以内	例) 放射線株式会社
61	法人にあつてはそ の代表者氏名	代表者役職名 代表者氏名	* 全角90文字以内	例) 代表取締役社長 例) 藤原 太郎(氏名の欄は全角スペース)
62		②	* 全角90文字以内	例) 111-0001
63	住所	郵便番号 都道府県	* 選択	リストから選択してください
64		住所	* 全角90文字以内	例) 千代田区豊町1-1-1
65		③	* 全角90文字以内	例) 藤原ビル5F(ビルマンション名等)
66		電話番号	* 全角90文字以内	例) 03-1111-2222
67	許可証の番号又は届出番号	④	使第	9999 号
68		名称	* 全角90文字以内	例) 放射線株式会社 東京事業所
69		郵便番号	* 選択	例) 111-0001
70		都道府県	* 選択	リストから選択してください
71	工場又は事業所 販売所 賃貸事業所	所在地	* 全角90文字以内	例) 千代田区豊町
72		住所	* 全角90文字以内	例) 藤原ビル5F
73		⑤	* 全角90文字以内	例) 03-1111-3333
74		電話番号	* 全角90文字以内	例) 連絡 次郎(氏名の欄は全角スペース)
75		連絡員の 氏名	* 全角15文字以内	例) 原子力安全課
76		所属部署名	* 全角15文字以内	例) 03-1111-4444
77		電話番号	*	
78			*	
79	【同一事業所情報】 ⑥			
80	2) 同一事業所がある場合、下のチェックボックスにチェックを入れて、事業所情報の入力を行ってください。			
81	<input type="checkbox"/> 同一事業所を入力を行う			
82	許可証の番号又は届出番号	販第	9999 号	*
83				

画面右側に、全角／半角などの入力規則が書かれています。規則に従って入力を行って下さい。

- ① 【氏名又は名称】 許可証に記載された「氏名又は名称」を入力して下さい。
- ② 【代表者役職名】【代表者氏名】 「代表者の役職」と「氏名」を入力して下さい。
- ③ 【住所】 許可証に記載された「住所」（本社や代表の住所）を入力して下さい。
- ④ 【許可証の番号又は届出番号】：「許可番号」または「届出番号」を入力して下さい。
- ⑤ 【工場又は事業所、販売所、賃貸事業所】 次の通り入力して下さい。
  - 【名称】 「事業所名」、「販売所名」、又は「賃貸事業所名」
  - 【所在地】 工場または事業所、販売所、賃貸事業所の「所在地」
  - 【連絡員の氏名】 事務手続きの連絡を行う際の連絡先
- ⑥ 【同一事業所情報】 販売業者と許可使用者が同一の法人の場合に使用することがあります。同一事業所については《別紙2-2 報告の種類》の「2. 届出版売業者の報告」を確認して下さい。

※【入力切替】 通常の操作では使用しません。販売業者や製造業者など、多数の抽出先への報告を一度に行う場合などに使用します。

このボタンを押してしまった場合は【キャンセル】をクリックするか、「報告の種類と放射性同位元素情報を個別に入力する（一般事業者向け）」にチェックを入れて【OK】をクリックして下さい。

報告情報の入力方式の選択

報告情報の入力方式を選択してください。

報告の種類と放射性同位元素情報を個別に入力する(一般事業者向け)

報告の種類と放射性同位元素情報を一括入力する(大規模事業者向け)

OK キャンセル

入力が終了したら、「報告情報」シートを開きます。

## 2) 報告情報入力画面

「報告情報」シートを開き、報告の種類と受払い等の情報を入力します。

⑦ 【報告日】 報告書の作成をし、データファイルを送信する日付を入力して下さい。

⑧ 【報告の種類】 報告を行う項目をチェックして下さい。

※「製造」又は「変更」をチェックした場合は、さらに詳細をチェックして下さい。

※どのような行為を行ったときに、どの種類をチェックするのは、《別紙 2-2 報告の種類》を確認して下さい。

⑨ 【報告行為を行った日】 「輸入日」、「輸出日」、「製造日」、「変更日」、「紛失日」、「発見日」、「在庫確認日」のいずれかを入力して下さい。

(報告の種類でチェックを行ったもの)

※「受入日」は⑩欄の「受入等年月日」、「払出日」は⑪欄の「払出等年月日」に入力し、本欄は空欄にして下さい。

⑩ 【受入れ等】 ⑧の【報告の種類】で「受入れ等」をチェックした場合、受入先の情報(線源をどこから買ったのか、どこから返ってきたのかなど)および、受入れ・引取りをした年月日を入力して下さい。

⑪ 【払出し等】 ⑧の【報告の種類】で「払出し等」をチェックした場合、払出先の情報(線源をどこへ返したか、どこへ売ったかなど)および、払出・販売(賃貸)をした年月日を入力して下さい。

入力が終了したら【報告の種類の設定】をクリックします。



Microsoft Excel - SGE00000.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(P)

質問を入力してください

N06

【密封された放射性同位元素の情報】

1) 「一括訂読」ボタンを押して、入力する線源数分データを作成してください。

2) 一覧表に直接線源情報を入力してください。(「まとめ製造」、「分解製造」については、「変更区分」欄にそれぞれ製造前と製造後の情報を設定してください。)

3) すべての線源情報の入力が完了したら、「送信用データ作成」ボタンを押してファイルを保存してください。

4) 保存したファイル(拡張子がXML)を以下のホームページから送信してください。

https://XXXXXXXXXXXX

一括訂読 送信用データ作成

変更区分* (注1)	番号*	用途*	型式*	核種*	数量*	単位*	ホルダー番号	製造者名	変更後情報	
									数量*	単位*
(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	

\\事業所情報\報告情報\線源情報\

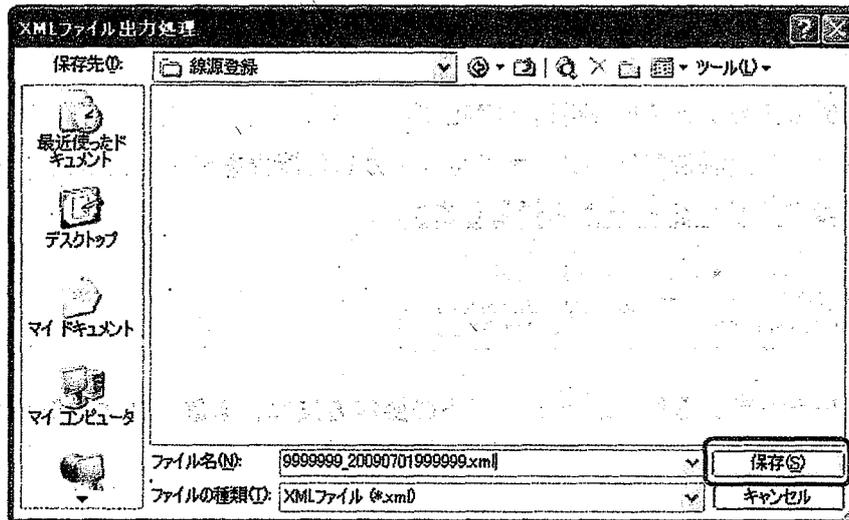
コマンド

線源の情報を入力します。

	報告項目	具体例
(12)	変更区分	「-」を入力します。(製造業者のみが他の値を入力します。)
(13)	番号	「線源番号」、「Serial No」、「source Number」、「Capsule #」など、線源に刻印された固有の番号で、仕様書、成績書、Certificateなどに記載された番号
(14)	用途	[大線量照射]、[測定器校正]、[工業用ラジオグラフィ]、[血液照射]、[ガンマナイフ]、[アフターローディング]など、線源の一般的な使用用途
(15)	型式	[C-188](大線量照射)、[CSL-15](血液照射)、[43685](ガンマナイフ)、[IR621](工業用ラジオグラフィ)、[GK60M21]、[VS2000]、[ICCB2689]、[080361V2](アフターローディング)など、線源の型式(コード番号)
(16)	核種	[Co-60]、[Ir-192]など、許可上の核種
(17)	数量	許可上の数量(放射能) ※数値のみを入力します。
(18)	単位	[GBq]、[TBq]などの単位
(19)	ホルダー番号	[1X001]、[8201]など、工業用ラジオグラフィ用線源の成績書に記載されたホルダー番号 (他の用途に使用する場合は記入不要)
(20)	製造者名	[社団法人日本アイソトープ協会]、[MDS Nordion]、[REVISS SERVICES Limited]、[Mallinckrodt Medical B.V.]、[GE Healthcare Buchler GmbH & Co. KG]など、線源の最終加工者
(21)	変更後情報	通常報告では使用しません。変更申請を行った者のみ、数量の変更を行えます。 ※数量の変更を行う場合は放射線規制室にお問い合わせ下さい。

↓

入力が終了したら【送信用データ作成】をクリックします。



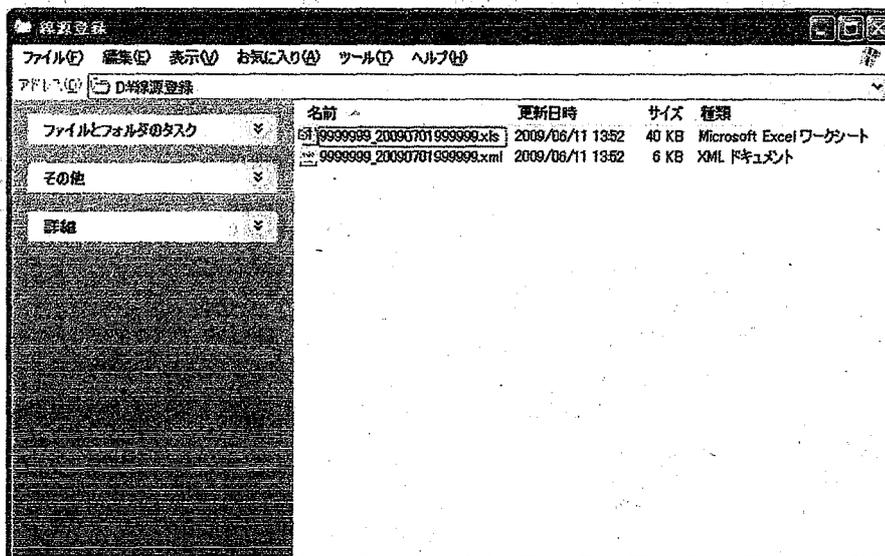
保存先を指定して下さい。(ファイル名は変更できます。)

↓【保存】をクリックします。



【OK】を押すと、指定した保存先に2つのファイル（印刷用のExcelファイルと送信用のxmlファイル）が保存されます。

↓



## 4) 保存されたファイルについて

## (1) 拡張子がxmlのファイル (種類「XMLドキュメント」)

このファイルが報告用データファイル (入力した情報をデータ化したファイル) です。このファイルをwebから報告します。

名前	更新日時	サイズ	種類
9999999_20090701999999.xls	2009/06/11 13:52	40 KB	Microsoft Excel ワークシート
9999999_20090701999999.xml	2009/06/11 13:52	6 KB	XMLドキュメント

※このファイルを報告するためのwebサイトの操作方法は、本書の2ページから記載されています。

## (2) 拡張子が.xlsのファイル (種類「Microsoft Excel ワークシート」)

一般的なExcelファイルです。

報告様式のフォーマットに従ったイメージを見ることができます。※このファイルをwebで送信することはできません。

印刷して保存する際などにご利用下さい。

名前	更新日時	サイズ	種類
9999999_20090701999999.xls	2009/06/11 13:52	40 KB	Microsoft Excel ワークシート
9999999_20090701999999.xml	2009/06/11 13:52	6 KB	XMLドキュメント

Microsoft Excel - 1009999\_20090520150497.xls

様式第五十一 (第39条第4項関係) 総理番号

特定放射性同位元素の受払い等に係る報告書

2009/05/01

文部科学大臣 殿

放射線株式会社  
代表取締役 放射 太郎

放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律第48条第1項及び同法施行規則第38条第4項の規定により、次のとおり報告

氏名又は名称	放射線株式会社
法人にあつては、その代表者氏名	代表取締役 放射 太郎
郵便番号 (111-1111)	
住所	東京都千代田区霞が関1-1-1
電話番号 (11-1111-1111)	
許可証の番号又は届出番号	便第 9999号
名称	放射線株式会社 東京事業所
郵便番号 (111-1111)	
所在地	東京都千代田区霞が関1-1-1
電話番号 (11-1111-1111)	
連絡員の氏名	線源 次郎
所属部署名	総務課
連絡先	電話番号 (11-1111-1111)

ツールから作成される報告様式 ↑

報告様式のフォーマット →

## 別紙 2-2 放射線源登録 報告の種類

報告を web で行う際は、専用のツール（Excel ファイル）にデータを入力し、報告用データを作成する必要があります。

報告用データを作成するための専用のツールは、web からダウンロードすることができます。線源登録システムにログインし、「様式ダウンロード」のページから報告用データ作成ツール（Excel ファイル）をダウンロードして下さい。

報告用データ作成ツールの操作方法は《別紙 2-1 操作手順》を確認して下さい。

本書では、業種別に報告が必要な行為を説明し、報告用データ作成ツールに入力する「報告の種類」および「報告行為を行った年月日」、「受入れ等」または「払出し等」の欄にどのような値を入力するのかを説明いたします。

A	B	C	D	E	F	G	H	I
21	【報告の種類等情報】							
22	1) 報告の種類と受払情報等について入力、「報告の種類の設定」ボタンを押してください。							
24	年月日(報告日)						例) 2009/4/1	
25			<input type="checkbox"/> 輸入 <input type="checkbox"/> 輸出					
26			<input type="checkbox"/> 受入れ等 <input type="checkbox"/> 払出し等					
27			<input type="checkbox"/> 貸出 <input type="checkbox"/> 変更					
28			<input type="checkbox"/> 紛失 <input type="checkbox"/> 発見					
29			<input type="checkbox"/> 在庫確認(所轄に係る報告)					
30			<input type="checkbox"/> 在庫確認(初回報告)					
31	報告の種類							
32								
33								
34								
35	報告行為を行った年月日						例) 2009/4/1	
35	(輸出入日、製造日、変更日、紛失・発見日、在庫確認日等 ※受払日は下記別欄に記載する)						報告の種類が「在庫確認」の場合は、直近の3/31の日付を	
36	受入れ等		許可証の番号又は届出番号		号		全角60文字以内 例) 放射線源株式会社 東京事業	
37	名称							
38	受入れ等年月日							
39	払出し等		許可証の番号又は届出番号		号		全角60文字以内 例) 放射線源株式会社 東京事業	
40	名称							
41	払出し等年月日							
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								
61								
62								
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								
91								
92								
93								
94								
95								
96								
97								
98								
99								
100								

1. 許可届出使用者の報告 .....2
  - 1) 制度開始時の在庫報告 .....2
  - 2) 線源交換時（線源の受入れと線源の払出し） .....3
  - 3) 許可使用者間の線源の受払い .....4
  - 4) 定期在庫報告（毎年3月31日時点の在庫） .....4
  - 5) その他、許可使用者に関する特殊な報告 .....5
2. 届出版売業者の報告 .....6
  - 1) 線源の仕入、販売 .....7
  - 2) 使用済み線源の引取り、返却 .....8

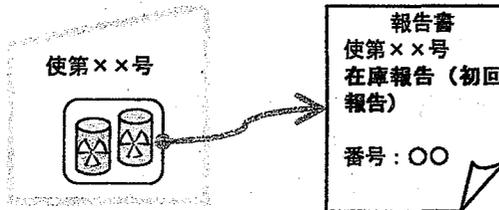
## 1. 許可届出使用者の報告

以下の行為について報告を行います。

ただし、使用の場所の一時的変更（法第10条第6項）に関する報告の必要はありません。

## 1) 制度開始時の在庫報告

制度開始と共にシステムに初期データを登録するため、制度開始時の在庫を報告して下さい。



A	B	C	D	E	F	G	H	
21	<b>【報告の種類等情報】</b>							
22	1) 報告の種類と受払情報等について入力し、「報告の種類等の確定」ボタンを押してください。							
23	年月日(報告日)		2009/8/1					
24	報告の種類	<input type="checkbox"/> 輸入	<input type="checkbox"/> 輸出					
25		<input type="checkbox"/> 受入れ等	<input type="checkbox"/> 払出し等					
26		<input type="checkbox"/> 封着	<input type="checkbox"/> 変更					
27		<input type="checkbox"/> 紛失	<input type="checkbox"/> 発見					
28		<input type="checkbox"/> 在庫確認(所轄に係る報告)						
29		<input checked="" type="checkbox"/> 在庫確認(初回報告)						
30	<input type="radio"/> 報告の種類は変更しない(初回報告・初年度のみ) <input type="radio"/> 報告の種類は変更する(初年度のみ) <input type="radio"/> 報告の種類は変更しない(初年度のみ)							
31	報告行為を行った年月日							
32	(輸出入日、製造日、変更日、紛失・発見日、在庫確認日等 ※受払日は下記別欄に記載する)							
33	報告行為を行った年月日		2009/7/31					
34	許可証の番号又は届出番号		号					
35	受入れ等	名称						
36	受入等年月日							
37	許可証の番号又は届出番号		号					
38	払出し等	名称						
39	払出等年月日							
40								
41								
42	報告の種類等の確定							
43	\事業所情報\報告情報\線源情報 /							
44	コマンド							

① 報告の種類：【在庫確認（初回報告）】

② 報告行為を行った年月日：在庫確認を行った日（運用開始日の前日）

D値の10倍以上の密封線源・・・2009年7月31日

D値以上の密封線源のうち次のもの・・・2009年12月31日

工業用ラジオグラフィ用線源

アフターローディング装置用線源

☆ 報告期限：運用開始日から3月間以内

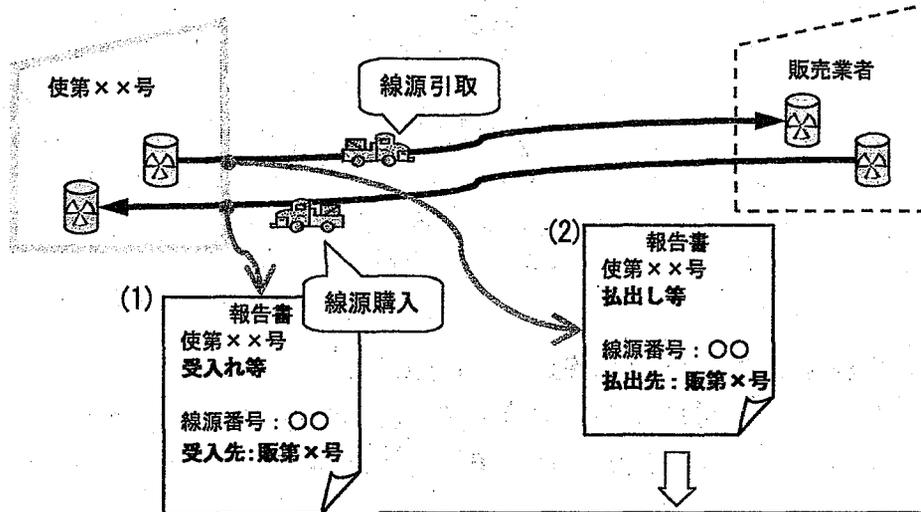
(2009年10月31日まで 又は 2010年3月31日まで)

## 2) 線源交換時（線源の受入れと線源の払出し）

新線源購入時の受入れと、使用済み線源返却時の払出しについて報告して下さい。

※ファイルは2種類作成する必要があります

報告用データのファイルも2種類作成されます。報告の際は、webサイトの報告用データ送信画面において、作成された2つのxmlファイルを一覧へ登録して下さい。



The screenshot shows the Microsoft Excel reporting form for source exchange. The form is divided into two sections: (1) Report for source purchase and (2) Report for source return. The form includes fields for report date, report type, and source information.

項目	内容
年月日(報告日)	2009/4/5
報告の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 受入れ等
報告行為を行った年月日	2009/4/1
受入れ等 許可届の番号又は届出番号	99991号
受入れ等 名称	R1株式会社
受入れ等 受入等年月日	2009/4/1
払出し等 許可届の番号又は届出番号	
払出し等 名称	
払出し等 払出等年月日	

## (1) 新線源の購入（線源の受入れ）

① 報告の種類：【受入れ等】

② 受入れ等：販売者（社団法人日本アイソトープ協会など）の許可届出番号と名称、受取日を入力します。

## (2) 使用済み線源の引取り返却（線源の払出し）

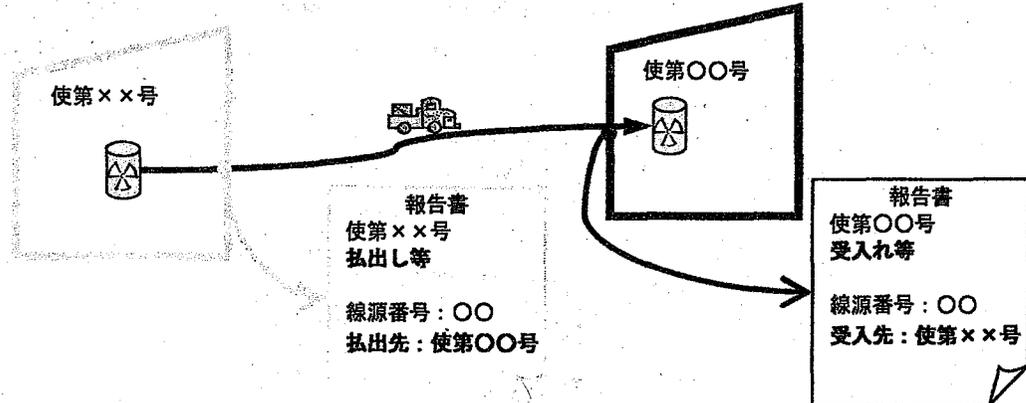
③ 報告の種類：【払出し等】

④ 払出し等：引取り者（社団法人日本アイソトープ協会など）の許可届出番号と名称、返却日を入力します。

## 3) 許可使用者間の線源の受払い

許可番号の異なる事業所と線源の譲渡譲受を行う場合に報告をして下さい。

使用の場所の一時的変更（法第10条第6項）に関する報告の必要はありません。



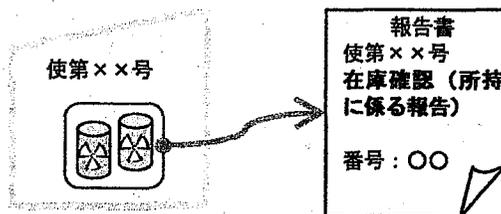
① 報告の種類：【受入れ等】または【払出し等】

② 受入れ等：線源を受け入れた者は、どこから受け入れたかを記入

払出し等：線源を払い出した者は、どこへ払い出したかを記入

## 4) 定期在庫報告（毎年3月31日時点の在庫）

年に一度、所持している対象線源の情報を報告して下さい。



A	B	C	D	E	F	G	H
21	【報告の種類等情報】						
22	1) 報告の種類と受払情報について入力し、「報告の種類の設定」ボタンを押してください。						
24	年月日(報告日)	2008/4/10					
25		<input type="checkbox"/> 輸入	<input type="checkbox"/> 輸出				
26		<input type="checkbox"/> 受入れ等	<input type="checkbox"/> 払出し等				
27		<input type="checkbox"/> 新装	<input type="checkbox"/> 変更				
28		<input type="checkbox"/> 紛失	<input type="checkbox"/> 発見				
29	報告の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 在庫確認(所持に係る報告) <input type="checkbox"/> 在庫確認(初回報告)					
30							
31							
32							
33							
34							
35	報告行為を行った年月日 (輸出入日、製造日、変更日、紛失・発見日、在庫確認日等※受払日は下記別欄に記す)	2008/3/31					
36	許可証の番号又は届出番号						号
37	受入れ等 名称						号
38	受入等年月日						号
39	許可証の番号又は届出番号						号
40	払出し等 名称						号
41	払出等年月日						号
42	報告の種類の設定						
43	コマンド						

① 報告の種類：【在庫確認（所持に係る報告）】

② 報告行為を行った年月日：当該年の3月31日

☆ 報告期限：3月間（当該年の6月30日まで）

## 5) その他、許可使用者に関する特殊な報告

## (1) 放射能の変更 (滅菌線源等の減衰補正)

許可証に記載した放射能(公称放射能)を変更する際の報告です。実放射能の減衰補正ではありません。

《※公称放射能の変更は変更申請等が必要です。放射線規制室へご相談下さい》

① 報告の種類:【変更】+【特定放射性同位元素の内容の変更(数量の変更)】

## (2) 保管委託

届出版売業者からの保管委託を受ける場合の報告です。

① 報告の種類:【受入等】(保管委託の開始時)または【払出等】(保管委託の終了時)

## (3) 新規製造 (非密封線源、報告対象外の密封線源からの製造)

① 報告の種類:【製造】+【新規製造】

## (4) まとめ製造 (報告対象の密封線源を複数個まとめて、アウターカプセルなどで再密封)

① 報告の種類:【変更】+【まとめ製造】

## (5) 分解製造 (上記(4)で製造した線源のアウターカプセルを開封し、複数個の線源に戻す)

① 報告の種類:【変更】+【分解製造】

※上記(3)、(4)、(5)については、使用目的として製造行為が含まれる許可を得ている事業所のみ実施可能です。

## 2. 届出販売業者の報告

以下の行為について報告を行います。

※制度開始時および定期在庫の報告は不要です。

【輸入】：「譲受け」の一種ですが、輸入は線源の国内流通の開始となる行為で、放射線源登録制度上重要な行為にあたるため、他の譲受けとは区別します。

【受入れ等】：輸入を除いた、線源が管理下に入る行為を表します。「譲受け」「回収」「賃借」「保管の委託の終了」が含まれます。

【輸出】：「譲渡し」の一種ですが、輸出は線源の国内流通の終了となる行為で、放射線源登録制度上重要な行為にあたるため、他の譲渡しとは区別します。

【払出し等】：輸出を除いた、線源が管理下から出る行為を表します。「譲渡し」「返還」「賃貸」「保管の委託」が含まれます。

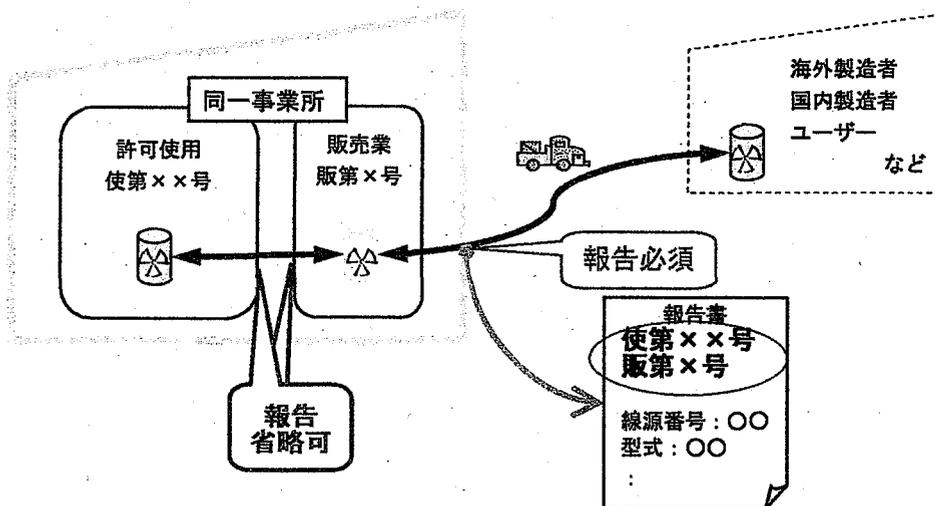
### ※同一事業所間の保管委託報告の省略

「許可使用者の工場又は事業所」と「販売業者の販売所」の同一の法人であって、その住所が等しい場合、両者を同一事業所と呼びます。

同一事業所間の保管の委託、保管の委託終了の報告は省略できます。

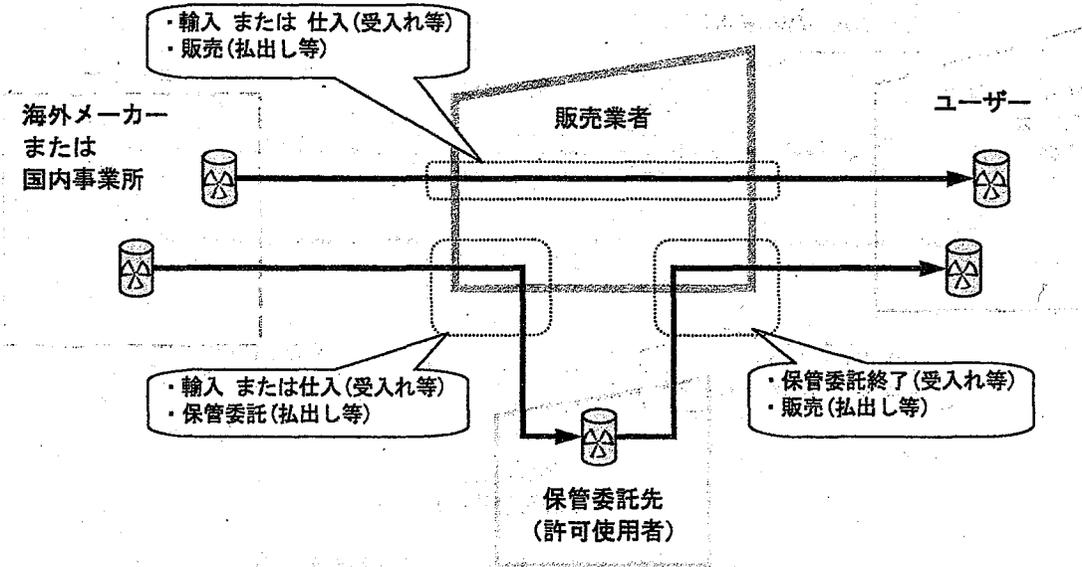
省略をする場合は、【輸入】、【受入】、【輸出】、【払出】のいずれかの報告時に販売業者の届出番号と許可使用者の許可番号を併記して下さい。

報告の方法につきましては、放射線規制室までお問い合わせ下さい。



1) 線源の仕入、販売

海外や国内の製造者から仕入れ、ユーザーへ販売する場合に報告して下さい。

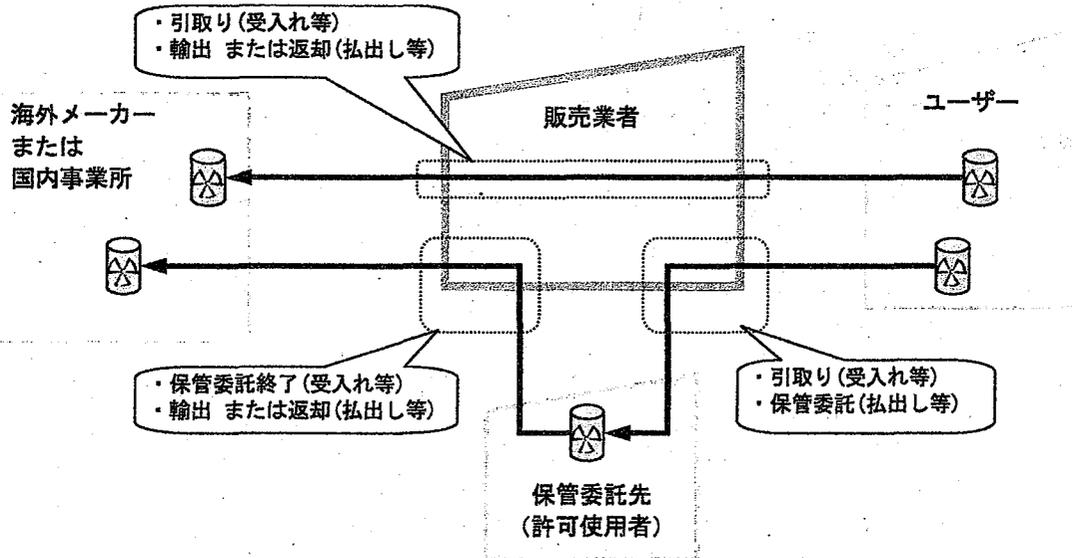


①の報告の種類は、海外から仕入れる場合は【輸入】、国内から仕入れる場合は【受入れ等】を選んで下さい。

	行為	① 報告の種類	② 報告行為を行った日	③ 受入れ等	④ 払出し等
a	輸入+販売	【輸入】【払出し等】	輸入日		販売日
b	輸入+保管委託	【輸入】【払出し等】	輸入日		保管委託日
c	仕入+販売	【受入れ等】【払出し等】		仕入日	販売日
d	仕入+保管委託	【受入れ等】【払出し等】		仕入日	保管委託日
e	保管委託終了+販売	【受入れ等】【払出し等】		保管委託終了日	販売日

## 2) 使用済み線源の引取り、返却

使用を終了した線源などを海外や国内の製造者へ返却する場合に報告して下さい。



Microsoft Excel - SGE00000.xls

K49

【報告の種類等情報】

1) 報告の種類と受払情報等について入力し、「報告の種類を確定」ボタンを押してください。

21	【報告の種類等情報】	
22	1) 報告の種類と受払情報等について入力し、「報告の種類を確定」ボタンを押してください。	
24	年月日(報告日)	2008/4/6
25	報告の種類 ①	<input type="checkbox"/> 輸入 <input checked="" type="checkbox"/> 輸出
26		<input checked="" type="checkbox"/> 受入れ等 <input type="checkbox"/> 払出し等
27		<input type="checkbox"/> 廃棄 <input type="checkbox"/> 変更
28		<input type="checkbox"/> 紛失 <input type="checkbox"/> 発見
29		<input type="checkbox"/> 在庫確認(所轄に係る報告)
30		<input type="checkbox"/> 在庫確認(初回報告)
31		<input type="radio"/> 引取り <input type="radio"/> 引渡し <input type="radio"/> 返却
32		<input type="radio"/> 報告書の提出(報告書の提出) <input type="radio"/> 報告書の提出(報告書の提出)
33		<input type="radio"/> 報告書の提出(報告書の提出) <input type="radio"/> 報告書の提出(報告書の提出)
34		報告行為を行った年月日
35	(輸出入日、製造日、変更日、紛失・発見日、在庫確認日等 ※受払日は下記別欄に記載する)	
36	許可証の番号又は届出番号	88881号
37	名称	放射線株式会社
38	受入れ等年月日	2008/4/5
39	許可証の番号又は届出番号	号
40	名称	
41	払出し等年月日	
42	報告の種類を確定	

② 報告行為を行った日  
③ 受入れ等  
④ 払出し等

①の報告の種類は、海外へ返却する場合は【輸出】、国内へ返却する場合は【払出し等】を選んで下さい。

	行為	① 報告の種類	② 報告行為を行った日	③ 受入れ等	④ 払出し等
a	引取り+輸出	【受入れ等】【輸出】	輸出日	引取り日	
b	引取り+返却	【受入れ等】【払出し等】		引取り日	返却日
c	引取り+保管委託	【受入れ等】【払出し等】		引取り日	保管委託日
d	保管委託終了+輸出	【受入れ等】【輸出】	輸出日	保管委託終了日	
e	保管委託終了+返却	【受入れ等】【払出し等】		保管委託終了日	返却日